

地域医療シンポジウム

これからの地域医療と 公立病院のあり方を考える

地域医療は、平成26年度医療法改正により、「病院完結型」から「地域完結型」への転換が求められています。地域の限られた医療資源を有機的に結びつけながら、地域全体が一つの病院となるような体制の構築が必要です。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするためには、どのようにすれば、医療、介護、予防、生活支援、住まいが地域において切れ目なく提供されるシステムとなるか、そのシステムの中での公立病院のあり方を皆様といっしょに考えたいと思います。

第1部

基調講演 (13:10～14:10)

「病院がなくなっても 幸せに暮らせる街・夕張 ～日本の医療が進むべき道～」

南日本ヘルスリサーチラボ 前夕張市立診療所所長 医師 森田 洋之 氏

森田洋之氏プロフィール

横浜生まれ、経済学部卒後、医師に。北海道夕張市立診療所所長を経て、現在は鹿児島県で研究・執筆を中心に活動している。

平成24年、医事新報で「夕張希望の杜の軌跡」を1年間連載。平成26年、TEDxKagoshima出演（「医療崩壊のすすめ」<https://www.youtube.com/watch?v=IL8aJE9Xp3Y>）、同年に研究論文「夕張市の一人あたり高齢者診療費減少に対する要因分析」（社会保険旬報No.2584,2014.11.1）発表。

南日本ヘルスリサーチラボ代表、鹿児島医療介護塾 街づくり部部长、夕張希望の杜医療介護連携アドバイザー、日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医、日本ヘリコバクター学会 H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医。



第2部

パネルディスカッション (14:20～15:40)

「これからの地域医療と 公立病院のあり方」

●コーディネーター

加藤 秀樹 (構想日本代表)

●パネリスト

越川 信一 (銚子市長)

森田 洋之 (南日本ヘルスリサーチラボ代表 医師)

野田 秀平 (海匠健康福祉センター長・海匠保健所長)

大野 慶周 (銚子市医師会会長 大野眼科院長)

浅利 俊彦 (銚子市医師会理事 浅利クリニック院長)

林 建男 (銚子市立病院長)

質疑応答 (15:40～16:00)

参加費無料

日時

平成
27年

3月1日

対象

100名程度

※事前申込みは不要ですが、満席になるとお断りすることもあります。

13:00～16:00 (開場 12:30～)

場所

銚子市保健福祉センター (銚子市役所南側)

※当日のシンポジウムの模様は、インターネット中継でも配信します。くわしくは、銚子市ホームページでご確認ください。

問合せ…銚子市役所医療対策室

☎0479-24-8260 (担当：古澤)